

第5期 事業計画書

令和3年10月1日から令和4年9月30日まで

NPO法人あったかいいねっと

1 事業実施の方針

NPO設立から3年と半年経過しました。今期は、理事会の機能を強化すると共に、事業部門、総務部門、NPO事務局など企業体としての体制を整え、スタッフを育成しデイサービス事業の質の向上を目指します。

昨年実施した支援ハウス事業は地域活動に必要な事業に位置付け、サロン活動として実施していきます。

また、第6期には認定NPO取得を目指すと共に、ご縁のあった方お一人お一人の、生と死・笑顔を支えるために、地域共生型拠点の浜田モデルを全国に発信していくための準備期間とします。

① 共生型デイサービス事業について（4年目）

目の前の笑顔のために、個々その人らしく安心して楽しく過ごしていただけるよう状態に合わせ必要な介護など提供します。それぞれの得意を引き出した活動を行い、心身の機能維持に努め支援します。そして大きな家族として互いを大切にし自助互助敬助を目指していきます。

現在定員15名の日が2～3営業日となり、共生型の利用希望者も増えてきていることから、曜日によっては利用をお断りせざるを得ない状況となっています。

このような状況から、1月から土曜日の営業を16時までに延長し、全営業日の営業時間を段階的に調整し、利用者の利便性を図ると共に、働きやすい勤務体制を整えていきます。

また、利用者の皆様により快適に過ごしていただくうえで、現建物が手狭になってきていることから、デイサービスの空間の拡大が必要となってきました。

今後、第4期に取得した支援ハウスをデイサービスに利用する方法について検討を進めることとします。

併せて、今後利用者の皆様の高齢化・重症化など在宅生活を

支援継続するため「お泊りデイ・ショートステイ」「グループホーム」「共生型デイサービスのサテライト」などを、第6期以降の事業案として研究することとします。

② 共生型交流サロン活動について

NPO 設立の大きな目標でもあるサロン活動では、生きづらさを抱える方々（第4期の支援ハウスで出逢った引きこもり等の方々を含む）や、障がいのあるなしにかかわらず参加できる居場所を提供し、そこで作業等の活動を行いながら他者と交流する機会を作り、協調しながら相互に助け合う地域共生社会づくりの活動を充実させていきます。

- ・ 第4期に実施した「支援ハウス de 仕事づくり事業」は、行政や関係機関などからも注目も浴びるとともに、我々も多くの事を学びました。また、地域に潜在する課題を浮き彫りにすることもでき事業継続の必要性を強く感じたところですが、事業が助成金事業であったため事業化には至りませんでした。

そこで、「支援ハウス de 仕事づくり事業」で作成した物品やファームの農作物の販売を行うなど、活動資金を生み出す仕組みを作りながら、支援ハウス活動を同事業参加者の居場所として共生型交流サロン活動の中に取り込み、月1~2回程度実施していきます。

- ・ 支援ハウスの取り組みから明らかとなった、生活困窮者や引きこもり者の生活実態からも、食の支援が必須と考え、設立当初より事業案として持っていた「おひとり様食堂」（子ども食堂の構想に対象者を生活困窮者や地域の中の孤食者を含む）への取り組み「カフェ・フリースペース」を試みとして実施します。
- ・ 当時から力を入れてきた人材育成事業は、コロナ渦で低迷しましたが、共生社会を担う人材を育てるため、専門職（共生型デイサービスでの職員研修等）や学生の共生型ボランティア

ア体験を実施する中で、地域人材とのネットワークを作り、地域共生のまちづくりを広げていきます。

2 事業の実施に関する事項(1)

事業名	事業内容	実施予定の 日時、場所、 従事者の予定 人数	受益対象 者の範囲 及び予定 人数	事業費の 予算額 (単位：千円)
共生型デイ サービスお 天気いいね	介護保険、障 害福祉サービ ス事業のデイ サービス	月～土 9：00～16：00	要支援1.2 要介護 1～5 区分2～6 定員1日15 名	収益 38,237 費用 32,557
拠点整備事業				
活動拠点整 備事業1 ①支援ハウ スの床貼り 体験事業（ 社会貢献基 金助成金事 業） ②その他備 品消耗品	支援ハウスの 活動スペース を使いやすい ように整備す る	支援ハウス 令和4年3月末 まで ボランティア など延べ15名 程度	生きづら さを抱え た人、ほか 地域協力 者	120

活動拠点整備事業2	デイ浴室天井、玄関手すり、駐車場屋根等修繕工事	デイサービス	デイサービス利用者	500
活動拠点整備事業3	支援ハウスとデイサービスの建物をつなぐ渡り廊下デッキ、スロープ設置			事業費として確保無し
サロン活動				
共生型交流サロン定例会イベント	地域の障がいの有無、年齢に関係なく参加できる活動居場所づくり	毎月1回第3日曜日午前中(10時~12時) 浜田市熱田町1129-1スタッフ2名	各回5名程度	20
人材育成事業	共生型人材育成の為の講演会など	不定期に2回実施	地域の人、共生社会に興味ある方	10
カフェ・フリースペース事業	地域に開いたおひとり様食堂(子ども食堂含む)カフェ試み	不定期に2回実施	生活困窮者・孤食の人・子ども食堂含む	25
目の前の笑顔のために事業	随時	随時。必要な場所	生きづらさを抱えている人	予算無し
ファーム	畑作業、収穫	随時	生きづら	20

畑で命の循環を学ぶ活動	、調理、販売など	浜田市熱田町1 192 - 2 スタッフ2名	さを抱えている人	
マリン海を楽しむ活動	浜田の海、千弘丸 協働体験試行	令和4年7月～ 9月 浜田港 スタ ッフ2名	生きづらさを抱えている人	予算無し 実費負担
サロン活動	小計			695
法人活動	合計			33,252

(2) その他事業 なし

(備考)

- 1 2の、(1)には「特定非営利活動に係る事業」、(2)には「その他の事業」について区分を明らかにして記載します。
- 2 2の(1)については、事業毎に事業名、事業内容、実施日時、実施場所、従事者の人数、受益対象者の範囲及び人数並びに支出額をそれぞれ記載します。
- 3 2の(1)のうち「受益対象者の範囲及び人数」の欄には、具体的な受益対象者及び人数を記載します。
- 4 2の(2)については、事業毎に事業名、事業内容、実施日時、実施場所、従事者の人数及び支出額をそれぞれ記載します。定款上、「その他の事業」に関する事項を定めている場合は、当該事業年度に実施しなかった場合も「実施しなかった」旨を記載します。